

新島の火山活動解説資料（平成 28 年 10 月）

気象庁地震火山部
火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図 2）

式根遠望カメラ（丹後山の西南西約 4 km）による観測では、丹後山山頂部に噴気は認められません。

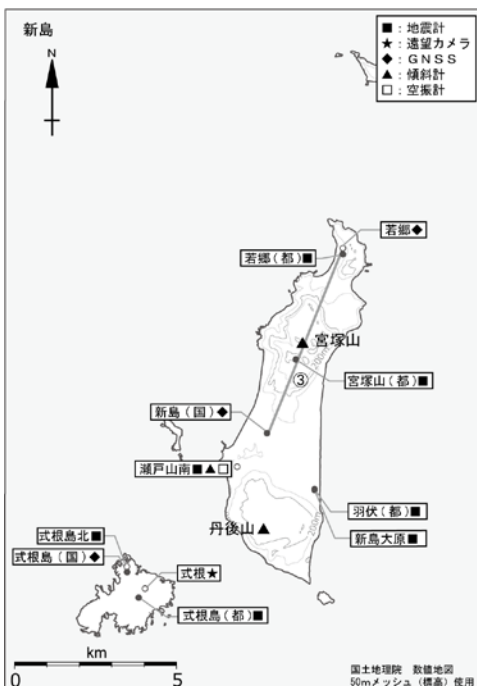
・ 地震や微動の発生状況（図 3 - ①②、図 4）

新島付近を震源とする火山性地震の発生は少なく、地震活動は低調に経過しています。
火山性微動は観測されていません。

・ 地殻変動の状況（図 1、図 3 - ③）

GNSS¹⁾ 連続観測では、火山活動によるとみられる変動は認められません。

1) GNSS (Global Navigation Satellite Systems) とは、GPS をはじめとする衛星測位システム全般を示す呼称です。



小さな白丸 (○) は気象庁、小さな黒丸 (●) は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。
(国)：国土地理院、(都)：東京都
国土地理院 数値地図 50mメッシュ (標高) 使用

図 1 新島 観測点配置図

GNSS 基線は図 3 の③に対応しています。

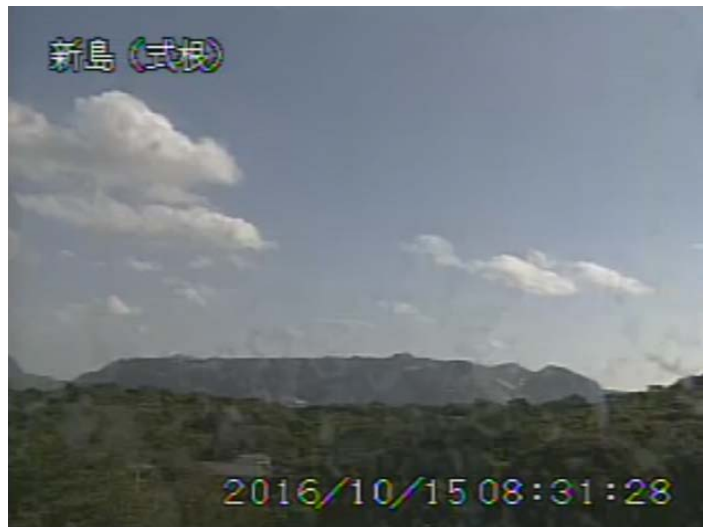


図 2 新島 丹後山山頂部の状況
(10月15日、式根遠望カメラによる)

この火山活動解説資料は気象庁ホームページ (<http://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/volcano.html>) でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料 (平成 28 年 11 月分) は平成 28 年 12 月 8 日に発表する予定です。
この資料は気象庁のほか、国土地理院、東京大学、国立研究開発法人防災科学技術研究所及び東京都のデータも利用して作成しています。

資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 25000 (行政界・海岸線)』『数値地図 50mメッシュ (標高)』を使用しています (承認番号：平 26 情使、第 578 号)。

【計数基準の変遷】	
A型地震	2010年10月1日（観測開始）～ 瀬戸山南から半径8km、深さ20km以内
BH型地震	
初期	2010年8月2日～2013年9月30日 瀬戸山南振幅0.8 μ m/s以上
変更	2013年10月1日～ 瀬戸山南振幅4.0 μ m/s以上

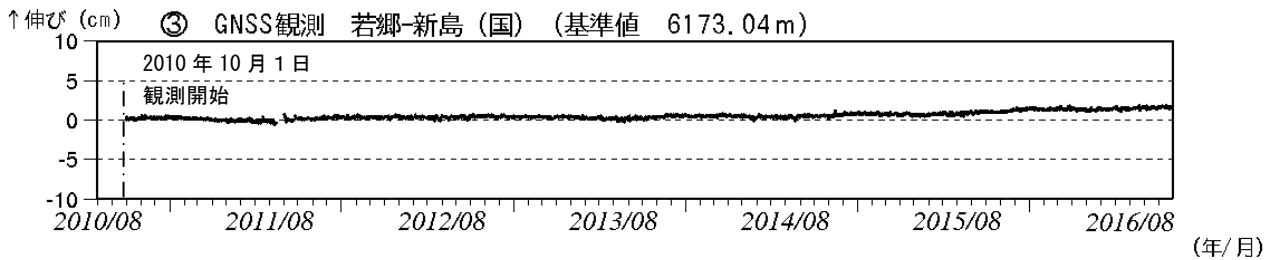
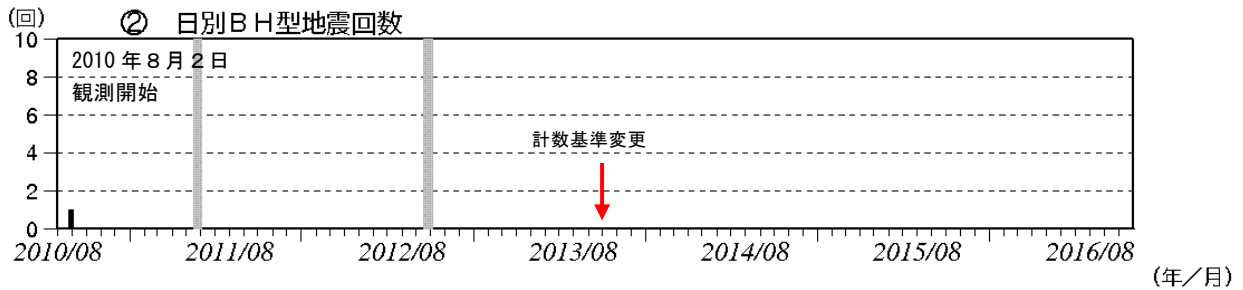
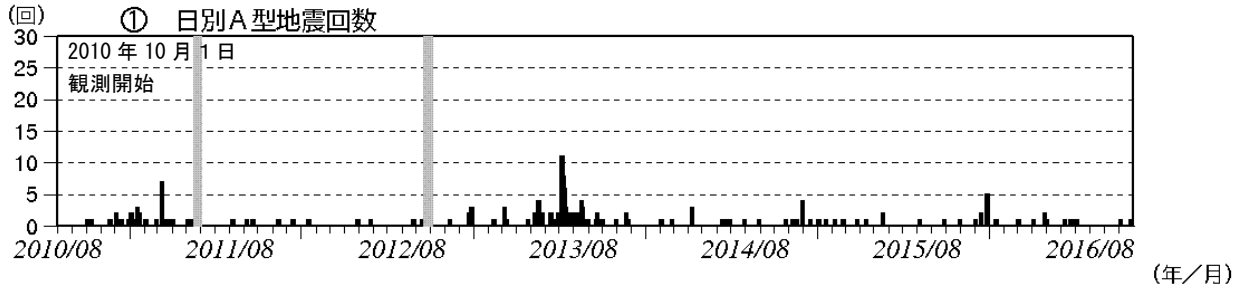


図3 新島 火山活動経過図(2010年8月2日～2016年10月31日)

- ①②新島周辺の日別地震回数
 - ・図の灰色部分は機器障害のため欠測を示します。
- ③ GNSS 連続観測による基線長変化 (国)：国土地理院
 - ・③は図1のGNSS基線③に対応しています。
 - ・グラフの空白部分は欠測期間を示します。

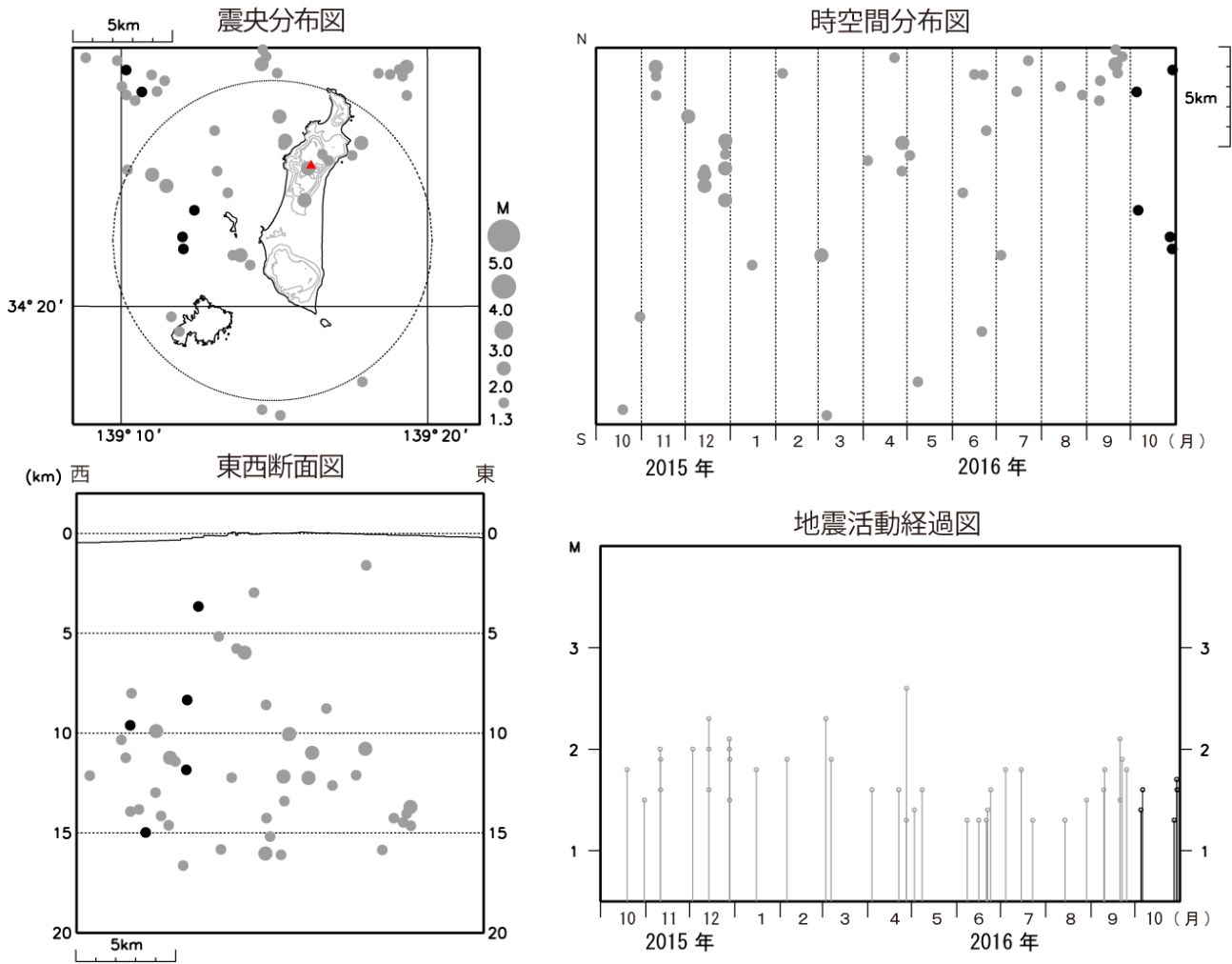


図 4 新島 広域地震観測網による山体・周辺の地震活動（2015 年 9 月 1 日～2016 年 10 月 31 日）

- : 2015 年 10 月 1 日～2016 年 9 月 31 日 ● : 2016 年 10 月 1 日～10 月 31 日
- ・ M（マグニチュード）は地震の規模を表し、M1.3 以上の地震を示しています。
- ・ 図中の震源要素は一部暫定値が含まれており、後日変更することがあります。
- ・ 計数対象（瀬戸山南から半径 8 km、深さ 20km 以内）以外の地震が含まれるため、図 3-① の日別 A 型地震回数とは異なります。